

デジタル社会における学び方と学びの場 —オンライン環境で「出来ること」「すべきこと」

開催地：大阪

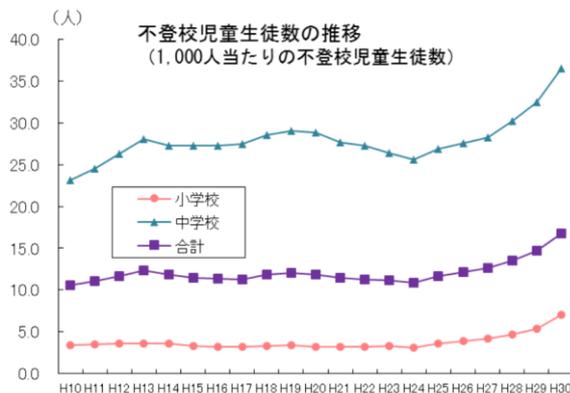
グループ： 3班

2022.09.18

メタバースを活用した新たな学習空間

5つの社会背景

- ・ コロナ禍によるオンライン教育の普及
- ・ 5G技術による情報処理技術の発展
- ・ 不登校生徒の増加
- ・ Society 5.0
- ・ グローバル化



不登校生徒の増加

近年日本では、不登校の生徒が増えている

→学校に行かなくても良いという選択肢が増えた。

しかし、コミュニケーション能力が低下する可能性も

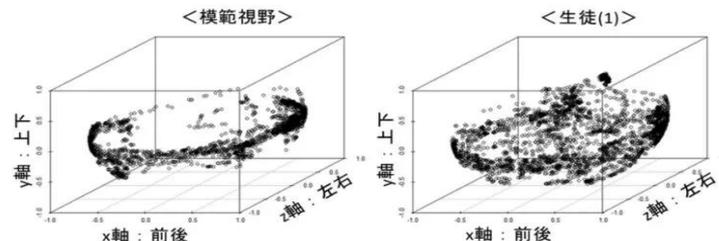
Society5.0/5G

コミュニケーションの輪が大きくなっている。特定の業界内においてというような縛りがなくなってきた。新たな空間における交流。

メリット

- ・映像授業ではなく、VRを用いた没入型授業にすることで、
集中力、創造力が途切れにくい

(<https://datamix.co.jp/news/20220802/>)



- ・不登校の生徒が学校への復学、授業を受ける為の導入に使える
→コミュニケーションをとる練習にも繋がるのでは
- ・国際交流が今までよりも低コストで行えるように
→より多くの人々が国際交流に参加できる

デメリット

- ▶ ・ 生徒のWifi環境が平等ではない
- ▶ ・ 教員のICTリテラシーの格差
- ▶ ・ メタバースの導入費用

活用の例

- 授業などで実際の場所に行ってみる
- 国際交流などを授業内に取り入れる
- 実際に体験することで個性を伸ばせる



提言

- 教員へのリテラシー教育をさらに行う
- まずは不登校関連のNPOやNGOへの支援や提案
- ネットの設備を同時に提供